



自然の恵み野 わっさむ 和寒町の紹介

1 概要

和寒町は、北海道の二大水系石狩川と天塩川の分水嶺「塩狩峠」の麓に広がり、東西南の三方を比較的低い山岳に囲まれた丘陵地と平坦地からなる穀倉地帯です。気候は内陸性気候を示し寒暖の差が大きく、7月中旬から8月上旬にかけては摂氏30度を超える日が続く、1月から2月にかけては氷点下30度以下を記録することもあります。

国道40号線が縦貫し、道央自動車道と和寒ICがあることから車でアクセスが良く、JR宗谷本線や都市間高速バスなどの交通機関も充実しており交通の便がとても良い町です。

2 人口 3,740人 (平成26年3月31日現在)

3 面積 224.83km²

4 特色

【特産品】

本町は、内陸型気候のため寒暖の差を利用した様々な農産物が生産されています。特に、南瓜の作付面積は900haを超え北海道の1割を占めており、日本一を誇っています。

特産品である越冬キャベツは、雪の下で貯蔵することで甘みが増し、シャキシャキとした食感になります。毎年出荷の時期には多くのメディアに取り上げられ、『和寒越冬キャベツ』として全国的な知名度があります。



【イベント・観光】

イベントは『三笠山夜桜まつり』『全日本玉入れ選手権大会』『どんとこい！わっさむ夏まつり』『パンプキンフェスティバル』などを開催し大勢の来場者で賑わっています。

観光では、塩狩峠の「一目千本桜」や作家三浦綾子さんの旧宅を復元した「塩狩峠記念館」、キャンプやカヌーが楽しめる「南丘森林公園」、遊具が楽しめる「三笠山自然公園」など自然に親しむ施設があり、町内外から多くの方に利用いただいています。

【スポーツのまち宣言】

すべての町民がスポーツに親しみ、健康で明るい緑豊かなまちづくりを目指し宣言しています。国道40号、JR宗谷本線沿いに位置する東山スキー場や、各種大会や研修にも利用できる総合体育館をはじめ、球場、プール、ナイター照明付きグラウンドなど、施設が充実しています。



5 役場所在地

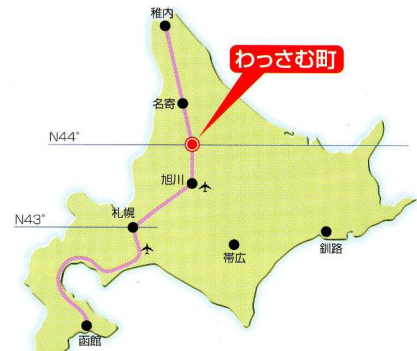
〒098-0192 上川郡和寒町字西町 120 番地

☎ 0165-32-2421 FAX 0165-32-4238

<http://www.town.wassamu.hokkaido.jp/>

【 アクセス 】

- 国道40号線 旭川より約38km(約50分)
- 道央自動車道 札幌IC～和寒IC約157km(約2時間)
- 高速バス 札幌～和寒(夏は2時間、冬は2時間半)
- JR 札幌～和寒(約2時間) 旭川～和寒(約45分)



6 本町の組織機構

◇町長部局：68名

〔 総務課12名、出納室2名、建設課8名、産業振興課12名、住民課10名、
保健福祉課24名 〕
教育委員会 9名 議会事務局 2名 農業委員会事務局 2名 町立病院 23名
消防和寒支署 13名 計117名

◇町予算規模 61億5,335万円

(平成26年度一般会計・各特別会計・病院事業会計の合計)

7 近年の職員採用状況

- 平成26年度 一般行政職：4名(大卒3名・高卒1名)
土木職：1名(社会人)
保健師：1名(大卒)
- 平成25年度 一般行政職：4名(大卒3名・高卒1名)
保健師：1名(大卒)
保育士：1名(短大卒)
消防士：1名(高卒)
- 平成24年度 一般行政職：3名(大卒2名・高卒1名)

8 先輩職員からのメッセージ

みなさんこんにちは。私は和寒町の職員として働きはじめて今年で4年目となりました。

最初は町外から就職したこともあり、仕事を含め不安な部分も多くありましたが、職場の上司や先輩方はみな親切で、休日には自宅で焼き肉をしたり、旅行に行ったりなど仕事だけではなくプライベートでも仲良くしてもらいとても楽しく生活しています。

役場には私が勤務している産業振興課をはじめたくさんの部署・仕事がありますが、そのどれもが町民のみなさんの生活につながっています。その分責任も感じますが、自分が関わった仕事で町民の方から「ありがとう」と言われた時にはとてもうれしく、もっと頑張ろうという気持ちになります。

和寒町は人口が約3,700人の小さな町ですが、その分町民の方々との距離が近く、仕事だけではなくお祭りやイベント等では一緒に町を盛り上げていると実感できると思います。

みなさんと元気な和寒町を目指し、一緒に働ける日を楽しみにしています。

(平成23年度職員採用)